

震災復興支援プログラム 『3・11 を忘れない ～愛の虹プロジェクト メサイア 2012～』

ご支援への感謝とご報告



福島の皆さんを中心とした 100 名の合唱団



主催団体である日本聖書協会 渡部信総主事からの
ごあいさつ



満席になった会場の福島市音楽堂大ホール

震災から 1 年半が経つ 9 月 8 日(土)、福島市音楽堂大ホールを会場に、日本聖書協会主催により震災復興支援プログラム『3・11 を忘れない ～愛の虹プロジェクト メサイア 2012～』を開催いたしました。

本公演は、ヘンデル作曲オラトリオ『メサイア』に込められた希望と癒し、いのちにあふれた人類へのメッセージを、震災から立ち上がる福島の皆さんと共に歌い、合唱を通して精神的な励ましと支え、復興への希望と力を抱いていただけることを願って企画されたものです。

当日は、地元教会の皆様はもちろん、仮設住宅に居住されている浪江町の皆さんをはじめ一般の方々も多数ご来場いただき、1,000 名収容の大ホールは満席となりました。そして、福島の皆さんを中心に結成されたメサイア合唱団に全国から合流して 100 名の愛の虹合唱団となり、舞台から力強く救いと希望の歌を賛美しました。福島の皆さんの心に、賛美とともに主の平安を分かち合うひと時をお届けできましたことを心より感謝いたします。

この度のメサイア公演の実現のために惜しみなく労してくださった福島メサイア実行委員会、福島の教会関係者の皆様、ご支援くださいました皆様に対して心より篤く御礼申し上げます。